

# 中日ニュース

第二一〇号 内容

街新四号

(P有)

33.1.24

## 一、難産した予算原案

昭和三十三年度の大蔵省原案をめぐる予算の分捕りは、かつてない混乱を呈した。砂防会館にある自民党の本部では、代議士までが血眼になり選挙区の陳情団や圧力団体に押されて奔走、いつ果てるともない醜態を繰返した。

このため、連日連夜開かれた党六役会議は、もつぱら一万田攻略に集中。やがて、疲れてきつた表情で霞ヶ関の大蔵省に帰つた一万田さんは広い大臣室にシヨンボリ……今まで傍観していた岸総理も事態がここに至つてようやく幹旋にのりだしたものの、結局一万田さんをかばいきれず、党三役の前に屈してしまつた。

斯くて難航を極めた予算問題も、二十日未明の臨時閣議で岸内閣初の政府原案をまとめたが、予算編成の基本方針もいづこえ、三悪追放も空念仏に終るなど、複雑な党内事情に捲込まれて自からの弱体を暴露するのだった。

## 一、週間話題

### ☆牛の危よけ

——福井

これは福井県美浜に古くから伝わる変つた牛のオマジナイ。ドンドの火は厄払いにあつたが、この火で牛の毛を焼き、一年の無病息災を祈るならわしです。

### ☆抑留韓国人釈放さる

——長崎

日韓覚書による一月十九日長崎県大村収容所から六十九人の韓国人が釈放されました。平均三年の収容所生活からやつと解放され、どの顔も喜びにあふれています。

### ☆吉葉山ついに引退

大相撲初場所不振の横綱吉葉山は、八日目に至り五敗をきつし、ついに引退を決意。一月二十日声明を発表。絶ちきれない土俵への愛着と悲運に涙する横綱の淋しい引退でした。

## カメラ・ルボ

### 一、高校生の「原子力科」

——東京・山梨・岐阜・兵庫

日本で初めての原子力学校が東京に出来、一月二十日正力国務大臣を招いて開校しました。ところで全国の工業高校でもいま原子力教育が盛んに行なわれており、兵庫工業では原子炉の講義が終ると模型の組立まで勉強しています。岐阜工業高校でも総額三百万円の設備を整えて昨年から測定実験。放射能研究で有名な甲府工業は奥秩父の調査も今年でもう七年。増富地区には東洋一のラジウム温泉を発見しています。こうして新しい時代のエンジニアが生れるのも間近なことでしょう。

197 94 86 59 213 33.1.24  
製作配給 東京中日新聞、中部日本ニュース映画社